

第60回 評議員会決議

協会は5月25日に第60回通常評議員会を開き、出席評議員の賛成多数で次の通り決議した。決議抜粋を紹介する。

今回の診療報酬改定は、保険診療の質の向上とは無関係の内容が盛り込まれ、それらに大半の財源が費やされるなど、歯科医院経営を支えるには程遠い内容となっている。長年にわたり低い水準に据え置かれている歯科医療費の問題、コロナ禍での受診抑制や物価高騰、新たな経費増

診療報酬再改定を要求し、 患者の受療権を守るよう求める

に対応していない。また、賃上げ対応の煩雑な施設基準の新設を含め、現場の開業医が分からないような改定内容になっている。

本来、診療報酬改定は保険診療の質の向上と保険医療機関の

経営を守るために財源が確保されるべきものであることは言うまでもない。ベースアップ評価料、医療DX推進体制整備加算とも、わずかな改定率の一方で政府方針を強要するために持ち込まれたもので、「そんな財源

め、国保料・介護保険料の引き下げに財源を使うべきである。私たち大阪府歯科保険医協会では、診療報酬改定が本来の役割を果たすべく再改定を求める。歯科医療の危機打開のため、歯科医療費の総枠拡大を求める。

国民皆保険制度を揺るがす保険証廃止に反対する。いつでもどこでも安心して患者が医療を受けられる医療提供体制を構築することを求める。

があるなら初再診料・技術料に振り向けるべきだ」というのが開業医の思いである。

また65歳以上の高齢者が支払う介護保険料について大阪府が全国最高額であることが報道されている。危険な万博は取りや

め、国保料・介護保険料の引き下げに財源を使うべきである。

また65歳以上の高齢者が支払う介護保険料について大阪府が全国最高額であることが報道されている。危険な万博は取りや

第60回評議員会 質疑応答集

協会への期待 寄せられる



答弁する小澤理事長

5月25日に開かれた第60回評議員会では会館建設や協会運営への期待も寄せられた。一部紹介したい。

マイナ保険証について マイナ保険証そのものの廃止を求める運動をすべきではないか。(齋賀史郎評議員・豊中市)

新会館建設募金について 募金の目標額はいくらか、いつまでに集めるのか、建て替えまでの仮の事務所は決まっているのか。(福西啓八評議員・大阪府西部地区)

組織拡大について 少子化の影響は出ていないと思うが、組織率低下は協会でも懸念されているのではないか。このままの予算編成でよいのか。(福西啓八評議員・大阪府西部地区)

事務局体制について 事務局員を3人採用したいとの提案だが、それで足りるか。平日や夜の会議に加え土日保

団連の会議、講習会がある。(玉川明弘評議員・大阪市東部地区)

マイナ保険証を利用している先生も会員の中にはおられる。協会、保団連の一致点は「現行の保険証を残して」

募金額の目標は3千万円。竣工までの2年6カ月間に目標に到達できればと考えている。今年の12月末には事務所を引越し、千日前通りの桜川駅に近い仮事務所に移転を検討している。

先生方のご協力により、保険証廃止を撤回する運動など様々な取組を通じて協会への信頼も広がっている。予算は前年度の実績を前提にしており提案の内容でいきたい。ぜひ組織拡大の面では予算を超過達成するよう先生方のご助言をいただきながら取り組みを強めていきたい。

め、国保料・介護保険料の引き下げに財源を使うべきである。

ベースアップ評価料説明会 実態踏まえ総合的な判断を

社保研究部と経税部は5月12日、「ベース評価料施設基準届出の適否を考

書、事後に実績報告書の提出が求められる。複雑な施設基準や、労働基準法遵守が盛り込まれていることから、各院所では自院の実態を踏まえ届出が可能かどうかの総合的な判断が求められる。

新設されたベースアップ評価料の説明会を開催し、会員120人が参加した。今次診療報酬改定で施設基準の届出対象に盛り込まれ、点数が新設された「歯科外来・在宅ベースアップ評価料I・II」は、従業員に対して賃上げ(ベースアップ)を実施する医療機関が、初・再診・訪問診療時に算定するもので、届出にあたっては賃金改善計画

また、桂好志郎氏(協会顧問社会保険労務士)は、賃上げ実施にあたって遵守すべきこととして、賃金台帳や雇用契約書の法定帳簿の見直し、定期昇給やベースアップの違いついて解説した。施設基準が期限付きの措置である可能性にも触れ、労働者に対する不利益変更は法で禁じられており、やむを得ず契約内容の変更をする場合も、合理的理由が求められると強調した。



桂好志郎氏



平尾社保研究部長

従業員の利用管理、募集・採用、労働基準法による労働条件、就業規則、給与規定モデルなどを解説しています。会員の先生には、2022年12月に1冊送付しています。追加のご注文は協会(TEL06-1656817731)まで。

「医院経営と雇用管理」 (2022年11月版) をご活用ください



B5判 193ページ
定価1,500円

発売以来、大きな反響!!

保険医が選んだ本場に必要防災セット



プラクティカ



500セット
限定

帰宅/避難型(1DAY)

沿岸部及び、津波の危機を想定される医院向け。東日本大震災でもみられたように即避難の緊急性を要す際を想定した防災セット。避難後1日を過ごせるように設計。

販売価格

39,800円(税別・送料込み)
(税込43,780円)

待機/滞在型(2DAY)

内陸部及び、生活インフラの危機を想定される医院向け。交通網の麻痺時などを想定し、医院や簡易の避難先に1日~2日とどまることを想定し設計された防災セット。

販売価格

45,000円(税別・送料込み)
(税込49,500円)

(オプション) 女性用セット

女性事務局員の意見を取り入れながら、避難時に必要な女性用セットをご用意いたしました。

販売価格

3,000円(税別)
(税込3,300円)

保険医が選んだ、 「保険医のための」防災セット

南海トラフ大地震や各地での災害時に備えるため、以前より会員ニーズの高かった防災グッズを、会員・組合員の「声」に基づきオリジナルで開発。防災士の資格を持つ事務局が担当しこだわり抜いた、被災時に本当に必要なものを備えた防災セットが誕生しました。

- ◎どの防災セットよりも「携帯の充電を切らさない」を意識。
- ◎「味・質」に、とことんこだわった防災食品。

各セットの内容物の詳細、フォームでのご注文は右記のQRを読み取ってください。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です



大阪府保険医協同組合・M&D保険医ネットワーク
お問い合わせは TEL.06-6568-2741
担当: 沖田(おきた)・廣川(ひろかわ)・寺内(てらうち)